

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	大阪観光専門学校
設置者名	学校法人 Adachi 学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
観光専門課程	旅行学科	夜・通信	256時数	80×2=160時数	
	鉄道サービス学科	夜・通信	224時数	80×2=160時数	
	ホテル学科	夜・通信	320時数	80×2=160時数	
	エアライン学科	夜・通信	384時数	80×2=160時数	
	グローバル語学学科	夜・通信	192時数	80×2=160時数	
	ブライダル学科	夜・通信	256時数	80×2=160時数	
	ビューティ学科	夜・通信	256時数	80×2=160時数	
	葬祭ディレクター学科	夜・通信	320時数	80×2=160時数	
	観光ビジネス	夜・通信	192時数	80×2=160時数	
	韓国語学科	夜・通信	224時数	80×2=160時間	
	IT観光学科	夜・通信	320時数	80×2=160時間	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

[https://www.daikan.ac.jp/pdf/oit\\_shirabasu\\_02.pdf](https://www.daikan.ac.jp/pdf/oit_shirabasu_02.pdf)

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

## 様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	大阪観光専門学校
設置者名	学校法人 Adachi 学園

### 1. 理事（役員）名簿の公表方法

公式ホームページ メインページの最下段「財務情報」  
「事業報告書」にて掲載  
<https://tokyo-senmon.jp/kokai/>

### 2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	株式会社取締役 (2005年6月～)	2017/11/15 ～ 2025/8/4	ガバナンスの強化
非常勤	株式会社取締役 (2015年6月～)	2017/11/15 ～ 2025/8/4	ガバナンスの強化
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	大阪観光専門学校
設置者名	学校法人 Adachi 学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)	
<p>◆年度開始前に開催される「カリキュラム会議」及び「講師会」において学校長、学務責任者、学科長及び授業担当者間で2年間の教育計画に基づきカリキュラムを作成する。</p> <p>◆各授業の指導方針、到達目標とその方法及び評価ポイントを定めた後、授業担当者が授業計画書(シラバス)を作成し、学科長に提出、必要に応じ学科長は授業担当者と修正を加え、決定内容を学校長、学務責任者に提出し、承認を得る。</p> <p>◆年度開始前に、在籍2年間の授業計画を策定するが、在学中の学習効果の度合いにより修正が必要な場合は、学科長及び授業担当者間で審議を行い、学校長、学務責任者の承認の上、随時修正を行う場合がある。</p>	
授業計画書の公表方法	ホームページにて公表 <a href="https://www.daikan.ac.jp/pdf/oit_shirabasu_02.pdf">https://www.daikan.ac.jp/pdf/oit_shirabasu_02.pdf</a>

2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)	
<p>◆各学年の前期及び後期に、教科ごとで試験を実施するが、当該教科の出席状況及び授業態度等も考慮し、定められた評価方法に基づき授業担当者が成績評価を行う。</p> <p>評価された成績を学科長が確認し、学校長承認の上で成績確定に至る。</p> <p>◆上記の試験については、当該教科の特性に応じ、筆記試験、実技試験、課題提出等を組み合わせて実施する。</p>	

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	
<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>◆成績評価は、次の4段階とする（出席率は70%以上であること*端数切捨て）。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・80点以上・・・A                      ・70点以上・・・B</li> <li>・60点以上・・・C                      ・59点以下・・・D（不可）</li> </ul> <p>◆GPA評価制度は、次の通りとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各教科のGポイント×当該教科の単位数合計÷当該教科の総単位数</li> <li>  *A=Gポイント3   B=Gポイント2   C=Gポイント1   D=Gポイント0</li> <li>  出席率70%未満=Gポイント0</li> </ul> <p>◆成績評価（GPA評価含む）は、各学年の前期及び後期開始前のオリエンテーション時に発表し、その後保護者へ郵送で通知する。</p> <p>◆前期及び後期終了時に評価を実施し、学生全体の学習状況及び理解度の把握を行う。</p>	
<p>客観的な指標の 算出方法の公表方法</p>	<p>ホームページにて公表 <a href="https://www.daikan.ac.jp/">https://www.daikan.ac.jp/</a></p>

<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	
<p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>◆卒業認定方針について、毎年度開始前に開催される「カリキュラム会議」において各学科の特性、各業界で必要とされる知識及びスキルを考慮し、卒業要件が決定される。</p> <p>◆卒業規定</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①学費を全納していること。</li> <li>②学則に定められた履修時間を履修し、合格していること。</li> </ol> <p>◆学生及び保護者に対しては、入学時のオリエンテーションやホームページを活用して公表している。</p>	
<p>卒業の認定に関する 方針の公表方法</p>	<p>学習の手引き ホームページ：<a href="https://www.daikan.ac.jp/">https://www.daikan.ac.jp/</a></p>

## 様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	大阪観光専門学校
設置者名	学校法人 Adachi 学園

### 1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	公式ホームページ メインページ最下段「財務情報」にて公表 <a href="https://tokyo-senmon.jp/kokai/">https://tokyo-senmon.jp/kokai/</a>
収支計算書又は損益計算書	公式ホームページ メインページ最下段「財務情報」にて公表 <a href="https://tokyo-senmon.jp/kokai/">https://tokyo-senmon.jp/kokai/</a>
財産目録	公式ホームページ メインページ最下段「財務情報」にて公表 <a href="https://tokyo-senmon.jp/kokai/">https://tokyo-senmon.jp/kokai/</a>
事業報告書	公式ホームページ メインページ最下段「財務情報」にて公表 <a href="https://tokyo-senmon.jp/kokai/">https://tokyo-senmon.jp/kokai/</a>
監事による監査報告（書）	公式ホームページ メインページ最下段「財務情報」にて公表 <a href="https://tokyo-senmon.jp/kokai/">https://tokyo-senmon.jp/kokai/</a>

## 2. 教育活動に係る情報

### ①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		観光専門課程	旅行学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	1920 単位時間/単位	単位時間 1024/単 位	単位時間 896/単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			1920 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120人		18人	4人	4人	14人	16人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）設定された各授業の到達目標とその方法、評価ポイントに基づき、授業担当者が授業計画書（シラバス）を作成し運用する。学生の学習効果の度合いにより修正が必要な場合は、学科長及び授業担当者間で審議を行い、学校長、学務責任者の承認の上で随時修正を行う。
成績評価の基準・方法
（概要）各学年の前期及び後期に、教科ごとで試験を実施するが、当該教科の出席状況及び授業態度等も考慮し、定められた評価方法に基づき授業担当者が成績評価を行う。評価された成績を学科長が確認し、学校長承認の上で成績確定を行う。
卒業・進級の認定基準
（概要）卒業認定方針について、毎年度開始前に開催される「カリキュラム会議」において各学科の特性、各業界で必要とされる知識及びスキルを考慮し、要件が決定される。卒業は、学費の全納及び学則に定められた科目の履修時間（1920時間）を履修し、合格することを要件とする。
学修支援等
（概要）学科ごとに配属されている専任教員が中心となり、学習支援を行う。授業内容に関することはもちろんのこと、出席状況等を含め、日頃の学生の状況を把握し、状況により個別面談を行う。また、学生相談室を開設しており、学生生活全般を通じた相談にも対応できるようにしている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
0人 (0%)	0人 (0%)	0人 (0%)	0人 (0%)
（主な就職、業界等） 2022年4月入学者が名称変更後の初年度生で卒業実績なし			
（就職指導内容） ・1年次の担任ゼミ・就職ゼミの授業において希望業界や職種を明確にできるように、企業研究を行う。 ・エントリーシートを作成させ、それをベースに面接対策をし、就職試験に臨めるように支援する。			
（主な学修成果（資格・検定等）） ・国内旅行業務取扱管理者 ・総合旅行業務取扱管理者 ・国内旅程管理主任者 ・総合旅程管理主任者 ・インフィニ検定初級			
（備考）（任意記載事項）名称変更前、トラベル学科として就職実績。阪急トラベルサポート、クラウン観光公社、日の丸観光バス、プレサンスコーポレーション歓喜旅行サービス、TBCグループ株式会社他			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
9人	1人	11.1%
（中途退学の主な理由） 経済的事情		
（中退防止・中退者支援のための取組） ・学生相談室を設置し、心理カウンセラーによる心のケア ・担任教員による日々の学生状況・出席状況の把握と保護者の連携 ・進級時奨学金による経済的サポート		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		観光専門課程	鉄道サービス学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	1920 単位時間/単位	単位時間 992/単位	単位時間 192/単位	単位時間 736/単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			1920 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
240 人		186 人	0 人	4 人	23 人	27 人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 設定された各授業の到達目標とその方法、評価ポイントに基づき、授業担当者が授業計画書(シラバス)を作成し運用する。学生の学習効果の度合いにより修正が必要な場合は、学科長及び授業担当者間で審議を行い、学校長、学務責任者の承認の上で随時修正を行う。
成績評価の基準・方法
(概要) 各学年の前期及び後期に、教科ごとで試験を実施するが、当該教科の出席状況及び授業態度等も考慮し、定められた評価方法に基づき授業担当者が成績評価を行う。評価された成績を学科長が確認し、学校長承認の上で成績確定を行う。
卒業・進級の認定基準
(概要) 卒業認定方針について、毎年度開始前に開催される「カリキュラム会議」において各学科の特性、各業界で必要とされる知識及びスキルを考慮し、要件が決定される。卒業は、学費の全納及び学則に定められた科目の履修時間(1920時間)を履修し、合格することを要件とする。
学修支援等
(概要) 学科ごとに配属されている専任教員が中心となり、学習支援を行う。授業内容に関することはもちろんのこと、出席状況等を含め、日頃の学生の状況を把握し、状況により個別面談を行う。また、学生相談室を開設しており、学生生活全般を通じた相談にも対応できるようにしている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
100人 (100%)	1人 ( 1%)	91人 ( 91%)	8人 ( 8%)
（主な就職、業界等） 日本貨物鉄道、四国旅客鉄道、神戸電鉄、土佐くろしお鉄道、JR西日本、西武鉄道、 北海道旅客鉄道、近江鉄道、IRいしかわ鉄道、沖縄市モノレール、阪急電鉄他			
（就職指導内容） ・1年次の担任ゼミ・就職ゼミの授業において希望業界や職種を明確にできるように、 企業研究を行う。 ・エントリーシートを作成させ、それをベースに面接対策をし、就職試験に臨めるよう に支援する。			
（主な学修成果（資格・検定等）） ・国内旅行業務取扱管理者 ・総合旅行業務取扱管理 者 ・インフィニ検定初級・サービス介助士			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
230人	15人	6.5%
（中途退学の主な理由） 経済的事情、進路変更、学業不振、学校生活不適應による		
（中退防止・中退者支援のための取組） ・学生相談室を設置し、心理カウンセラーによる心のケア ・担任教員による日々の学生状況・出席状況の把握と保護者の連携 ・進級時奨学金による経済的サポート		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		観光専門課程	ホテル学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	1920 単位時間/単位	単位時間 1024/単 位	単位時間 896/単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			1920 単位時間/単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
160 人	75 人	8 人	3 人	22 人	25 人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）設定された各授業の到達目標とその方法、評価ポイントに基づき、授業担当者が授業計画書（シラバス）を作成し運用する。学生の学習効果の度合いにより修正が必要な場合は、学科長及び授業担当者間で審議を行い、学校長、学務責任者の承認の上で随時修正を行う。
成績評価の基準・方法
（概要）各学年の前期及び後期に、教科ごとで試験を実施するが、当該教科の出席状況及び授業態度等も考慮し、定められた評価方法に基づき授業担当者が成績評価を行う。評価された成績を学科長が確認し、学校長承認の上で成績確定を行う。
卒業・進級の認定基準
（概要）卒業認定方針について、毎年度開始前に開催される「カリキュラム会議」において各学科の特性、各業界で必要とされる知識及びスキルを考慮し、要件が決定される。卒業は、学費の全納及び学則に定められた科目の履修時間（1920 時間）を履修し、合格することを要件とする。
学修支援等
（概要）学科ごとに配属されている専任教員が中心となり、学習支援を行う。授業内容に関することはもちろんのこと、出席状況等を含め、日頃の学生の状況を把握し、状況により個別面談を行う。また、学生相談室を開設しており、学生生活全般を通じた相談にも対応できるようにしている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
33人 (100%)	1人 ( 3%)	30人 ( 90.9%)	2人 ( 6.1%)
（主な就職、業界等）ホテル ラ・スイート神戸、ザ・リッツカールトン大阪、ホテルニューアワジ、コンラッド大阪、志摩スペイン村、アパグループ、京都ホテル、東横イン、ホテルオオクラ神戸他			
（就職指導内容） ・1年次の担任ゼミ・就職ゼミの授業において希望業界や職種を明確にできるように、企業研究を行う。 ・エントリーシートを作成させ、それをベースに面接対策をし、就職試験に臨めるように支援する。			
（主な学修成果（資格・検定等）） ・ホテル実務技能認定試験 ・実用英語技能検定 ・ビジネス能力検定ジョブパス試験 ・観光英語検定			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
78人	3人	3.8%
（中途退学の主な理由） 経済的事情、進路変更、学業不振、体調不良による		
（中退防止・中退者支援のための取組） ・学生相談室を設置し、心理カウンセラーによる心のケア ・担任教員による日々の学生状況・出席状況の把握と保護者の連携 ・進級時奨学金による経済的サポート		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		観光専門課程	エアライン学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	1920 単位時間/単位	単位時間 1178/単位	単位時間 /単位	単位時間 742/単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			1920 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人		32人	2人	2人	18人	20人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）設定された各授業の到達目標とその方法、評価ポイントに基づき、授業担当者が授業計画書（シラバス）を作成し運用する。学生の学習効果の度合いにより修正が必要な場合は、学科長及び授業担当者間で審議を行い、学校長、学務責任者の承認の上で随時修正を行う。
成績評価の基準・方法
（概要）各学年の前期及び後期に、教科ごとで試験を実施するが、当該教科の出席状況及び授業態度等も考慮し、定められた評価方法に基づき授業担当者が成績評価を行う。評価された成績を学科長が確認し、学校長承認の上で成績確定を行う。
卒業・進級の認定基準
（概要）卒業認定方針について、毎年度開始前に開催される「カリキュラム会議」において各学科の特性、各業界で必要とされる知識及びスキルを考慮し、要件が決定される。卒業は、学費の全納及び学則に定められた科目の履修時間（1920時間）を履修し、合格することを要件とする。
学修支援等
（概要）学科ごとに配属されている専任教員が中心となり、学習支援を行う。授業内容に関することはもちろんのこと、出席状況等を含め、日頃の学生の状況を把握し、状況により個別面談を行う。また、学生相談室を開設しており、学生生活全般を通じた相談にも対応できるようにしている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
0人 （ 0%）	0人 （ 0%）	0人 （ 0%）	0人 （ 0%）
（主な就職、業界等） 2022年4月入学者が名称変更後の初年度生で卒業実績なし			
（就職指導内容） ・1年次の担任ゼミ・就職ゼミの授業において希望業界や職種を明確にできるように、企業研究を行う。 ・エントリーシートを作成させ、それをベースに面接対策をし、就職試験に臨めるように支援する。			
（主な学修成果（資格・検定等））・実用英語技能検定 ・マナープロトコール検定 ・観光英語検定 ・インフィニ検定初級			
（備考）（任意記載事項）名称変更前、エアポート学科として就職実績。 マイナミ空港サービス、ヒラノ・スカイ・サポート、TBKエアポートグランドサービス、CROSSI（シュールル）、株式会社にしけい、株式会社セノン、TBCグループ他			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
17人	1人	5.9%
（中途退学の主な理由） 進路変更のため		
（中退防止・中退者支援のための取組） ・学生相談室を設置し、心理カウンセラーによる心のケア ・担任教員による日々の学生状況・出席状況の把握と保護者の連携 ・進級時奨学金による経済的サポート		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		観光専門課程	グローバル語学学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	1920 単位時間/単位	単位時間 608/単位	単位時間 256/単位	単位時間 1056/単 位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			1920 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人		55人	1人	3人	25人	28人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）設定された各授業の到達目標とその方法、評価ポイントに基づき、授業担当者が授業計画書（シラバス）を作成し運用する。学生の学習効果の度合いにより修正が必要な場合は、学科長及び授業担当者間で審議を行い、学校長、学務責任者の承認の上で随時修正を行う。
成績評価の基準・方法
（概要）各学年の前期及び後期に、教科ごとで試験を実施するが、当該教科の出席状況及び授業態度等も考慮し、定められた評価方法に基づき授業担当者が成績評価を行う。評価された成績を学科長が確認し、学校長承認の上で成績確定を行う。
卒業・進級の認定基準
（概要）卒業認定方針について、毎年度開始前に開催される「カリキュラム会議」において各学科の特性、各業界で必要とされる知識及びスキルを考慮し、要件が決定される。卒業は、学費の全納及び学則に定められた科目の履修時間（1920時間）を履修し、合格することを要件とする。
学修支援等
（概要）学科ごとに配属されている専任教員が中心となり、学習支援を行う。授業内容に関することはもちろんのこと、出席状況等を含め、日頃の学生の状況を把握し、状況により個別面談を行う。また、学生相談室を開設しており、学生生活全般を通じた相談にも対応できるようにしている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
43人 (100%)	0人 (0%)	39人 (90.7%)	4人 (9.3%)
（主な就職、業界等） 阪神サンヨーホールディングス、ANA クラウンプラザホテル岡山、大黒天物産株式会社、株式会社理想実業（どうとんぼり神座）、サマンサタバサジャパンリミテッド他			
（就職指導内容） ・1年次の担任ゼミ・就職ゼミの授業において希望業界や職種を明確にできるように、企業研究を行う。 ・エントリーシートを作成させ、それをベースに面接対策をし、就職試験に臨めるように支援する。			
（主な学修成果（資格・検定等）） ・ 実用英語検定 ・ ホテル実務技能認定試験 ・ 観光英語検定 ・ TOEIC ・ HSK（漢語水平考試）			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
85人	15人	17.6%
（中途退学の主な理由） 進路変更、学業不振による		
（中退防止・中退者支援のための取組） ・ 学生相談室を設置し、心理カウンセラーによる心のケア ・ 担任教員による日々の学生状況・出席状況の把握と保護者の連携 ・ 進級時奨学金による経済的サポート		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		観光専門課程	ブライダル学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	1920 単位時間/単位	単位時間 704/単位	単位時間 448/単位	単位時間 768/単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			1920 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120人		29人	0人	2人	23人	25人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）設定された各授業の到達目標とその方法、評価ポイントに基づき、授業担当者が授業計画書（シラバス）を作成し運用する。学生の学習効果の度合いにより修正が必要な場合は、学科長及び授業担当者の中で審議を行い、学校長、学務責任者の承認の上で随時修正を行う。
成績評価の基準・方法
（概要）各学年の前期及び後期に、教科ごとで試験を実施するが、当該教科の出席状況及び授業態度等も考慮し、定められた評価方法に基づき授業担当者が成績評価を行う。評価された成績を学科長が確認し、学校長承認の上で成績確定を行う。
卒業・進級の認定基準
（概要）卒業認定方針について、毎年度開始前に開催される「カリキュラム会議」において各学科の特性、各業界で必要とされる知識及びスキルを考慮し、要件が決定される。卒業は、学費の全納及び学則に定められた科目の履修時間（1920時間）を履修し、合格することを要件とする。
学修支援等
（概要）学科ごとに配属されている専任教員が中心となり、学習支援を行う。授業内容に関することはもちろんのこと、出席状況等を含め、日頃の学生の状況を把握し、状況により個別面談を行う。また、学生相談室を開設しており、学生生活全般を通じた相談にも対応できるようにしている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
18人 (100%)	0人 ( 0%)	18人 ( 100%)	0人 ( 0%)
（主な就職、業界等） HD フラワーホールディングス、ドリームリンク、岸和田グランドホール、グラヴィス株式会社 花嫁センター、プリムローズガーデン、JW マリオット・ホテル奈良他			
（就職指導内容） ・1年次の担任ゼミ・就職ゼミの授業において希望業界や職種を明確にできるように、企業研究を行う。 ・エントリーシートを作成させ、それをベースに面接対策をし、就職試験に臨めるように支援する。			
（主な学修成果（資格・検定等）） ・ブライダルコーディネーター技能検定 ・パーソナルカバリスト検定 ・ドレスコーディネーター認定試験			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
43人	3人	7.0%
（中途退学の主な理由）学業不振による		
（中退防止・中退者支援のための取組） ・学生相談室を設置し、心理カウンセラーによる心のケア ・担任教員による日々の学生状況・出席状況の把握と保護者の連携 ・進級時奨学金による経済的サポート		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		観光専門課程	ビューティ学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	1920 単位時間/単位	単位時間 864/単位	単位時間 224/単位	単位時間 832/単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			1920 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人		11人	0人	2人	22人	24人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）設定された各授業の到達目標とその方法、評価ポイントに基づき、授業担当者が授業計画書（シラバス）を作成し運用する。学生の学習効果の度合いにより修正が必要な場合は、学科長及び授業担当者間で審議を行い、学校長、学務責任者の承認の上で随時修正を行う。
成績評価の基準・方法
（概要）各学年の前期及び後期に、教科ごとで試験を実施するが、当該教科の出席状況及び授業態度等も考慮し、定められた評価方法に基づき授業担当者が成績評価を行う。評価された成績を学科長が確認し、学校長承認の上で成績確定を行う。
卒業・進級の認定基準
（概要）卒業認定方針について、毎年度開始前に開催される「カリキュラム会議」において各学科の特性、各業界で必要とされる知識及びスキルを考慮し、要件が決定される。卒業は、学費の全納及び学則に定められた科目の履修時間（1920時間）を履修し、合格することを要件とする。
学修支援等
（概要）学科ごとに配属されている専任教員が中心となり、学習支援を行う。授業内容に関することはもちろんのこと、出席状況等を含め、日頃の学生の状況を把握し、状況により個別面談を行う。また、学生相談室を開設しており、学生生活全般を通じた相談にも対応できるようにしている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
8人 (100%)	0人 (0%)	7人 (87.5%)	1人 (12.5%)
（主な就職、業界等）クラフト・ワークス、株式会社 ポーラ、株式会社 フェイスグループ、株式会社 ミュゼプラチナ、カルナーキア株式会社、株式会社ストーン・フィールド、株式会社レック他			
（就職指導内容） ・1年次の担任ゼミ・就職ゼミの授業において希望業界や職種を明確にできるように、企業研究を行う。 ・エントリーシートを作成させ、それをベースに面接対策をし、就職試験に臨めるように支援する。			
（主な学修成果（資格・検定等））・ブライダルコーディネータ技能検定 ・パーソナルカバリスト検定・ドレスコーディネーター認定試験			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
13人	0人	0%
（中途退学の主な理由）経済的事情、進路変更、学業不振による		
（中退防止・中退者支援のための取組） ・学生相談室を設置し、心理カウンセラーによる心のケア ・担任教員による日々の学生状況・出席状況の把握と保護者の連携 ・進級時奨学金による経済的サポート		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		観光専門課程	葬祭ディレクター学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	1920 単位時間/単位	単位時間 832/単位	単位時間 224/単位	単位時間 864/単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			1920 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40人		21人	0人	4人	18人	22人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）設定された各授業の到達目標とその方法、評価ポイントに基づき、授業担当者が授業計画書（シラバス）を作成し運用する。学生の学習効果の度合いにより修正が必要な場合は、学科長及び授業担当者間で審議を行い、学校長、学務責任者の承認の上で随時修正を行う。
成績評価の基準・方法
（概要）各学年の前期及び後期に、教科ごとで試験を実施するが、当該教科の出席状況及び授業態度等も考慮し、定められた評価方法に基づき授業担当者が成績評価を行う。評価された成績を学科長が確認し、学校長承認の上で成績確定を行う。
卒業・進級の認定基準
（概要）卒業認定方針について、毎年度開始前に開催される「カリキュラム会議」において各学科の特性、各業界で必要とされる知識及びスキルを考慮し、要件が決定される。卒業は、学費の全納及び学則に定められた科目の履修時間（1920時間）を履修し、合格することを要件とする。
学修支援等
（概要）学科ごとに配属されている専任教員が中心となり、学習支援を行う。授業内容に関することはもちろんのこと、出席状況等を含め、日頃の学生の状況を把握し、状況により個別面談を行う。また、学生相談室を開設しており、学生生活全般を通じた相談にも対応できるようにしている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
11人 (100%)	0人 (0%)	11人 (100%)	0人 (0%)
（主な就職、業界等） 株式会社 花駒、南海グリーンサポート株式会社、株式会社日本セレモニー、株式会社吹公社、株式会社レクスト関西他			
（就職指導内容） ・1年次の担任ゼミ・就職ゼミの授業において希望業界や職種を明確にできるように、企業研究を行う。 ・エントリーシートを作成させ、それをベースに面接対策をし、就職試験に臨めるように支援する。			
（主な学修成果（資格・検定等）） ・葬祭ディレクター技能審査 ・フラワー装飾技能士 ・未生流中山文甫会新花			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
20人	2人	10%
（中途退学の主な理由）体調不良による		
（中退防止・中退者支援のための取組） ・学生相談室を設置し、心理カウンセラーによる心のケア ・担任教員による日々の学生状況・出席状況の把握と保護者の連携 ・進級時奨学金による経済的サポート		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		観光専門課程	観光ビジネス学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	1920 単位時間/単位	単位時間 1184/単位	単位時間 352/単位	単位時間 384/単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			1920 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人		5人	5人	4人	14人	18人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）設定された各授業の到達目標とその方法、評価ポイントに基づき、授業担当者が授業計画書（シラバス）を作成し運用する。学生の学習効果の度合いにより修正が必要な場合は、学科長及び授業担当者間で審議を行い、学校長、学務責任者の承認の上で随時修正を行う。
成績評価の基準・方法
（概要）各学年の前期及び後期に、教科ごとで試験を実施するが、当該教科の出席状況及び授業態度等も考慮し、定められた評価方法に基づき授業担当者が成績評価を行う。評価された成績を学科長が確認し、学校長承認の上で成績確定を行う。
卒業・進級の認定基準
（概要）卒業認定方針について、毎年度開始前に開催される「カリキュラム会議」において各学科の特性、各業界で必要とされる知識及びスキルを考慮し、要件が決定される。卒業は、学費の全納及び学則に定められた科目の履修時間（1920時間）を履修し、合格することを要件とする。
学修支援等
（概要）学科ごとに配属されている専任教員が中心となり、学習支援を行う。授業内容に関することはもちろんのこと、出席状況等を含め、日頃の学生の状況を把握し、状況により個別面談を行う。また、学生相談室を開設しており、学生生活全般を通じた相談にも対応できるようにしている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
16人 (100%)	2人 (12.5%)	9人 (56.2%)	5人 (31.3%)
（主な就職、業界等）合同会社 泰安、株式会社栄徳商事、JW マリオット・ホテル奈良、環宇株式会社、株式会社鐘、株式会社アイデアホールディングス、株式会社ベジコープ他			
（就職指導内容） ・1年次の担任ゼミ・就職ゼミの授業において希望業界や職種を明確にできるように、企業研究を行う。 ・エントリーシートを作成させ、それをベースに面接対策をし、就職試験に臨めるように支援する。			
（主な学修成果（資格・検定等）） ・日本語能力試験 ・ホテル実務技能認定試験			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
21人	0人	0%
（中途退学の主な理由）		
（中退防止・中退者支援のための取組） ・学生相談室を設置し、心理カウンセラーによる心のケア ・担任教員による日々の学生状況・出席状況の把握と保護者の連携 ・進級時奨学金による経済的サポート		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		観光専門課程	韓国語学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	1920 単位時間/単位	単位時間 1408/単位	単位時間 192/単位	単位時間 320/単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			1920 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
240人		136人	0人	3人	24人	27人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）設定された各授業の到達目標とその方法、評価ポイントに基づき、授業担当者が授業計画書（シラバス）を作成し運用する。学生の学習効果の度合いにより修正が必要な場合は、学科長及び授業担当者間で審議を行い、学校長、学務責任者の承認の上で随時修正を行う。
成績評価の基準・方法
（概要）各学年の前期及び後期に、教科ごとで試験を実施するが、当該教科の出席状況及び授業態度等も考慮し、定められた評価方法に基づき授業担当者が成績評価を行う。評価された成績を学科長が確認し、学校長承認の上で成績確定を行う。
卒業・進級の認定基準
（概要）卒業認定方針について、毎年度開始前に開催される「カリキュラム会議」において各学科の特性、各業界で必要とされる知識及びスキルを考慮し、要件が決定される。卒業は、学費の全納及び学則に定められた科目の履修時間（1920時間）を履修し、合格することを要件とする。
学修支援等
（概要）学科ごとに配属されている専任教員が中心となり、学習支援を行う。授業内容に関することはもちろんのこと、出席状況等を含め、日頃の学生の状況を把握し、状況により個別面談を行う。また、学生相談室を開設しており、学生生活全般を通じた相談にも対応できるようにしている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
67人 (100%)	7人 (10.4%)	45人 (67.2%)	15人 (22.4%)
（主な就職、業界等） アロフト大阪堂島、株式会社 ヒラノ・スカイ・サポート、万葉倶楽部株式会社、株式会社アバン、株式会社モン・プティ・ラパン、株式会社ロイヤルパークホテル他			
（就職指導内容） ・1年次の担任ゼミ・就職ゼミの授業において希望業界や職種を明確にできるように、企業研究を行う。 ・エントリーシートを作成させ、それをベースに面接対策をし、就職試験に臨めるように支援する。			
（主な学修成果（資格・検定等）） ・韓国語能力試験（TOPIC） ・ハングル能力検定試験			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
161人	26人	16.1%
（中途退学の主な理由） 経済的事情、進路変更、学業不振による		
（中退防止・中退者支援のための取組） ・学生相談室を設置し、心理カウンセラーによる心のケア ・担任教員による日々の学生状況・出席状況の把握と保護者の連携 ・進級時奨学金による経済的サポート		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
商業実務	観光専門課程	IT観光学科 ICT×トラベルコース	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	1920 単位時間/単位	単位時間 672/単位	単位時間 864/単位	単位時間 384/単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			1920 単位時間/単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
全コース 80 人の内数	3人	0人	2人	15人	17人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）設定された各授業の到達目標とその方法、評価ポイントに基づき、授業担当者が授業計画書（シラバス）を作成し運用する。学生の学習効果の度合いにより修正が必要な場合は、学科長及び授業担当者間で審議を行い、学校長、学務責任者の承認の上で随時修正を行う。
成績評価の基準・方法
（概要）各学年の前期及び後期に、教科ごとで試験を実施するが、当該教科の出席状況及び授業態度等も考慮し、定められた評価方法に基づき授業担当者が成績評価を行う。評価された成績を学科長が確認し、学校長承認の上で成績確定を行う。
卒業・進級の認定基準
（概要）卒業認定方針について、毎年度開始前に開催される「カリキュラム会議」において各学科の特性、各業界で必要とされる知識及びスキルを考慮し、要件が決定される。卒業は、学費の全納及び学則に定められた科目の履修時間（1920時間）を履修し、合格することを要件とする。
学修支援等
（概要）学科ごとに配属されている専任教員が中心となり、学習支援を行う。授業内容に関することはもちろんのこと、出席状況等を含め、日頃の学生の状況を把握し、状況により個別面談を行う。また、学生相談室を開設しており、学生生活全般を通じた相談にも対応できるようにしている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
0人 (0%)	0人 (0%)	0人 (0%)	0人 (0%)
（主な就職、業界等） 2022年4月入学者が新設初年度生で卒業実績なし			
（就職指導内容） ・1年次の担任ゼミ・就職ゼミの授業において希望業界や職種を明確にできるように、企業研究を行う。 ・エントリーシートを作成させ、それをベースに面接対策をし、就職試験に臨めるように支援する。			
（主な学修成果（資格・検定等））国内旅行業務取扱管理者、ITパスポート、情報セキュリティマネジメント			
（備考）（任意記載事項） 2022年度新設学科のため、卒業実績はありません。			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
0人	0人	0%
（中途退学の主な理由）		
（中退防止・中退者支援のための取組） ・学生相談室を設置し、心理カウンセラーによる心のケア ・担任教員による日々の学生状況・出席状況の把握と保護者の連携 ・進級時奨学金による経済的サポート		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		観光専門課程	IT 観光学科 ICT×鉄道コース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	1920 単位時間/単位	単位時間 672/単位	単位時間 864/単位	単位時間 384/単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			1920 単位時間/単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
全コース 80 人の内数	0 人	0 人	2 人	15 人	17 人		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 設定された各授業の到達目標とその方法、評価ポイントに基づき、授業担当者が授業計画書(シラバス)を作成し運用する。学生の学習効果の度合いにより修正が必要な場合は、学科長及び授業担当者間で審議を行い、学校長、学務責任者の承認の上で随時修正を行う。
成績評価の基準・方法
(概要) 各学年の前期及び後期に、教科ごとで試験を実施するが、当該教科の出席状況及び授業態度等も考慮し、定められた評価方法に基づき授業担当者が成績評価を行う。評価された成績を学科長が確認し、学校長承認の上で成績確定を行う。
卒業・進級の認定基準
(概要) 卒業認定方針について、毎年度開始前に開催される「カリキュラム会議」において各学科の特性、各業界で必要とされる知識及びスキルを考慮し、要件が決定される。卒業は、学費の全納及び学則に定められた科目の履修時間(1920時間)を履修し、合格することを要件とする。
学修支援等
(概要) 学科ごとに配属されている専任教員が中心となり、学習支援を行う。授業内容に関することはもちろんのこと、出席状況等を含め、日頃の学生の状況を把握し、状況により個別面談を行う。また、学生相談室を開設しており、学生生活全般を通じた相談にも対応できるようにしている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
0人 （ 0%）	0人 （ 0%）	0人 （ 0%）	0人 （ 0%）
（主な就職、業界等） 2022年4月入学者が新設初年度生で卒業実績なし			
（就職指導内容） ・1年次の担任ゼミ・就職ゼミの授業において希望業界や職種を明確にできるように、企業研究を行う。 ・エントリーシートを作成させ、それをベースに面接対策をし、就職試験に臨めるように支援する。			
（主な学修成果（資格・検定等））国内旅行業務取扱管理者、ITパスポート、情報セキュリティマネジメント			
（備考）（任意記載事項） 2022年度新設学科のため、卒業実績はありません。			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
0人	0人	0%
（中途退学の主な理由）		
（中退防止・中退者支援のための取組） ・学生相談室を設置し、心理カウンセラーによる心のケア ・担任教員による日々の学生状況・出席状況の把握と保護者の連携 ・進級時奨学金による経済的サポート		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		観光専門課程	IT 観光学科 ICT×ホテルコース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	1920 単位時間/単位	単位時間 608/単位	単位時間 864/単位	単位時間 448/単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			1920 単位時間/単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
全コース 80 人の内数人	1人	1人	2人	15人	17人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）設定された各授業の到達目標とその方法、評価ポイントに基づき、授業担当者が授業計画書（シラバス）を作成し運用する。学生の学習効果の度合いにより修正が必要な場合は、学科長及び授業担当者間で審議を行い、学校長、学務責任者の承認の上で随時修正を行う。
成績評価の基準・方法
（概要）各学年の前期及び後期に、教科ごとで試験を実施するが、当該教科の出席状況及び授業態度等も考慮し、定められた評価方法に基づき授業担当者が成績評価を行う。評価された成績を学科長が確認し、学校長承認の上で成績確定を行う。
卒業・進級の認定基準
（概要）卒業認定方針について、毎年度開始前に開催される「カリキュラム会議」において各学科の特性、各業界で必要とされる知識及びスキルを考慮し、要件が決定される。卒業は、学費の全納及び学則に定められた科目の履修時間（1920 時間）を履修し、合格することを要件とする。
学修支援等
（概要）学科ごとに配属されている専任教員が中心となり、学習支援を行う。授業内容に関することはもちろんのこと、出席状況等を含め、日頃の学生の状況を把握し、状況により個別面談を行う。また、学生相談室を開設しており、学生生活全般を通じた相談にも対応できるようにしている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
0人 （ 0%）	0人 （ 0%）	0人 （ 0%）	0人 （ 0%）
（主な就職、業界等） 2022年4月入学者が新設初年度生で卒業実績なし。			
（就職指導内容） ・1年次の担任ゼミ・就職ゼミの授業において希望業界や職種を明確にできるように、企業研究を行う。 ・エントリーシートを作成させ、それをベースに面接対策をし、就職試験に臨めるように支援する。			
（主な学修成果（資格・検定等）） ホテル実務技能認定試験、実用英語技能検定、ITパスポート、情報セキュリティマネジメント			
（備考）（任意記載事項）2022年度新設学科のため、卒業実績はありません。			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
3人	2人	66.7%
（中途退学の主な理由） 経済的事情、進路変更		
（中退防止・中退者支援のための取組） ・学生相談室を設置し、心理カウンセラーによる心のケア ・担任教員による日々の学生状況・出席状況の把握と保護者の連携 ・進級時奨学金による経済的サポート		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		観光専門課程	IT 観光学科 ICT×語学コース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	1920 単位時間/単位	単位時間 832/単位	単位時間 672/単位	単位時間 416/単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			1920 単位時間/単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
全コース 80 人の内数	1 人	0 人	2 人	15 人	17 人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）設定された各授業の到達目標とその方法、評価ポイントに基づき、授業担当者が授業計画書（シラバス）を作成し運用する。学生の学習効果の度合いにより修正が必要な場合は、学科長及び授業担当者間で審議を行い、学校長、学務責任者の承認の上で随時修正を行う。
成績評価の基準・方法
（概要）各学年の前期及び後期に、教科ごとで試験を実施するが、当該教科の出席状況及び授業態度等も考慮し、定められた評価方法に基づき授業担当者が成績評価を行う。評価された成績を学科長が確認し、学校長承認の上で成績確定を行う。
卒業・進級の認定基準
（概要）卒業認定方針について、毎年度開始前に開催される「カリキュラム会議」において各学科の特性、各業界で必要とされる知識及びスキルを考慮し、要件が決定される。卒業は、学費の全納及び学則に定められた科目の履修時間（1920 時間）を履修し、合格することを要件とする。
学修支援等
（概要）学科ごとに配属されている専任教員が中心となり、学習支援を行う。授業内容に関することはもちろんのこと、出席状況等を含め、日頃の学生の状況を把握し、状況により個別面談を行う。また、学生相談室を開設しており、学生生活全般を通じた相談にも対応できるようにしている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
0人 （ 0%）	0人 （ 0%）	0人 （ 0%）	0人 （ 0%）
（主な就職、業界等）2022年4月入学者が新設初年度生で卒業実績なし			
（就職指導内容） ・1年次の担任ゼミ・就職ゼミの授業において希望業界や職種を明確にできるように、企業研究を行う。 ・エントリーシートを作成させ、それをベースに面接対策をし、就職試験に臨めるように支援する。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 実用英語技能検定、TOEIC、ITパスポート、情報セキュリティマネジメント			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
2人	1人	50%
（中途退学の主な理由） 経済的事情		
（中退防止・中退者支援のための取組） ・学生相談室を設置し、心理カウンセラーによる心のケア ・担任教員による日々の学生状況・出席状況の把握と保護者の連携 ・進級時奨学金による経済的サポート		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
旅行	160,000 円	880,000 円	220,000 円	
鉄道サービス	160,000 円	880,000 円	220,000 円	
ホテル	160,000 円	880,000 円	220,000 円	
エアライン	160,000 円	880,000 円	220,000 円	
グローバル 語学	160,000 円	880,000 円	220,000 円	
ブライダル	160,000 円	880,000 円	220,000 円	
ビューティ	160,000 円	880,000 円	220,000 円	
葬祭ディレク ター	160,000 円	880,000 円	220,000 円	
観光ビジネス	160,000 円	880,000 円	220,000 円	
韓国語	160,000 円	880,000 円	220,000 円	
IT 観光	160,000 円	880,000 円	220,000 円	
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)		
<a href="https://www.daikan.ac.jp/">https://www.daikan.ac.jp/</a>		
学校関係者評価の基本方針(実施方法・体制)		
<p>学校自己評価及び日常の学校教育に対する評価・意見内容を教育活動面と学校運営面に分別し、学務・広報・事務の三位が運営方針と照らし合わせ、協議・検討する。改善・修正を要する場合、責任者会議で最終判断をし、授業に取り入れていき、学校関係者評価の効果的な活用を図る。</p>		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
株式会社 東京ビジネス	H31. 4. 1～R5. 3. 31 任期満了	企業委員
東方典礼カトリック教会	H31. 4. 1～R5. 3. 31 任期満了	企業委員
イズミヤカード株式会社	H31. 4. 1～R5. 3. 31 任期満了	企業委員
北条鉄道株式会社	H31. 4. 1～R5. 3. 31 任期満了	企業委員
スイスホテル大阪南海株式会社	H31. 4. 1～R5. 3. 31 任期満了	企業委員
ハイアットリージェンシー大阪	H31. 4. 1～R5. 3. 31 任期満了	企業委員
株式会社 夢現社	H. 31. 4. 1～R8. 3. 31 任期更新	企業委員
株式会社 創英	H31. 4. 1～R5. 3. 31 任期満了	企業委員
株式会社ホテリエスタッフ	R5. 4. 1～R8. 3. 31 新規就任	企業委員
株式会社キャリア総研	R5. 4. 1～R8. 3. 31 新規就任	企業委員
公益財団法人 日本ケアフィット共育機構	R5. 4. 1～R8. 3. 31 新規就任	企業委員
株式会社トップ・スタッフ	R5. 4. 1～R8. 3. 31 新規就任	企業委員
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)		
<a href="https://www.daikan.ac.jp/">https://www.daikan.ac.jp/</a>		
第三者による学校評価(任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)

<https://www.daikan.ac.jp/>

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード	H127310001218
学校名	大阪観光専門学校
設置者名	学校法人 Adachi学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		126人	115人	—
内 訳	第Ⅰ区分	81人	73人	
	第Ⅱ区分	29人	26人	
	第Ⅲ区分	16人	16人	
家計急変による支援対象者（年間）				—
合計（年間）				130人
(備考)				

※ 本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定		0人	0人
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあつては、履修科目の単位数が標準単位数の5割以下)		—	—
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況		—	—
「警告」の区分に連続して該当		0人	—
計		—	14人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であつて、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡つて認定の効力を失った者の数

右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間	前半期	0人	後半期	0人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数の6割以下 (単位制によらない専門学校にあつては、履修科目の単位数が標準単位数の6割以下)		0人	—
G P A等が下位4分の1		—	—
出席率が8割以下その他学修意欲が低い状況		—	—
計		—	16人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。